



免税事業者のためのインボイス登録解説

インボイス制度が2023年10月から導入され、請求業務が大きく変わります。

これにより免税事業者の方々にも重要な影響があります。

本資料では、登録が必要な理由と具体的な手続きについてご説明します。



作成者：博己 加藤



インボイス制度とは



適格請求書制度

正式には「適格請求書等保存方式」と呼ばれる新しい制度です。



登録必須

インボイスの発行には事前の登録が必要になります。



取引影響

多くの取引先から登録を求められる状況が発生しています。

免税事業者が登録を検討すべき理由



取引継続

取引先維持のため登録が重要になります



仕入税額控除

未登録だと取引先が控除を受けられなくなります



課税事業者への転換

登録により消費税の納税義務が発生します

登録申請書の記載ポイント



基本情報

申請者欄と事業内容の正確な記入が必須
です。

個人事業主は個人番号の記載も必要です。



免税事業者欄

「免税事業者」のチェック欄を忘れずに確認しましょう。



法人情報

法人の場合は設立年月日と資本金の記入も必要です。

申請時の特例と重要チェック欄

H

免税事業者確認欄

特例利用のために重要なチェック欄があります



期間限定特例

2023年10月～2029年9月まで特例が適用されます



届出書不要ケース

条件によっては課税事業者選択届が不要場合があります

提出方法と注意点

郵送提出

インボイス登録センターに郵送で提出
します

処理期間

申請から登録までに数週間かかる場合
があります



窓口提出不可

税務署や窓口での直接提出はできませ
ん

電子申請

条件によってはe-Taxでの申請も可能
です

登録後の影響



納税義務発生

登録日以降は消費税の納税義務が発生します。

申告・納税の準備が必要です。



インボイス発行義務

適格請求書の発行が義務化されます。

請求書様式の変更が必要です。



経営面の影響

会計処理や価格転嫁の検討が必要です。

取引先との契約書の再確認も重要です。





まとめ・今後の対応

取引先との関係

取引先への影響を考慮し、登録の必要性を判断しましょう。

損益シミュレーションも重要です。

申請手続き

期限や必要書類に注意し、迅速に申請しましょう。

記入漏れがないか確認が大切です。

専門家への相談

不明点は税理士や税務署へ相談することをおすすめします。

個別の状況に応じたアドバイスが得られます。